

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-20-2

事業名 津波避難施設整備事業

事業費 総額 142,991,141 円 (国費 89,761,000 円)

平成 24 年度 1,249,500 円 地質調査業務委託

平成 25 年度 3,433,500 円 設計業務委託

平成 26 年度 135,305,141 円 避難タワー建築工事

3,003,000 円 工事監理業務委託

事業期間 平成 24 年度 ～ 平成 26 年度

事業目的

山武市津波対策 100 年計画では、津波避難に関する考え方として、10m の想定浸水区域から避難することを目標としている。また、自動車等により想定浸水区域外への避難困難者が多く想定される地域には、緊急的に一時避難が可能な施設を整備する。

山武市の中央部に二級河川木戸川が流下しており、河川沿いの集落には特別養護老人ホームや身体障害者支援施設が隣接している。施設入所者は避難に時間を要することから避難タワーを設置し、近隣住民とともに安全確保を図る。

事業結果

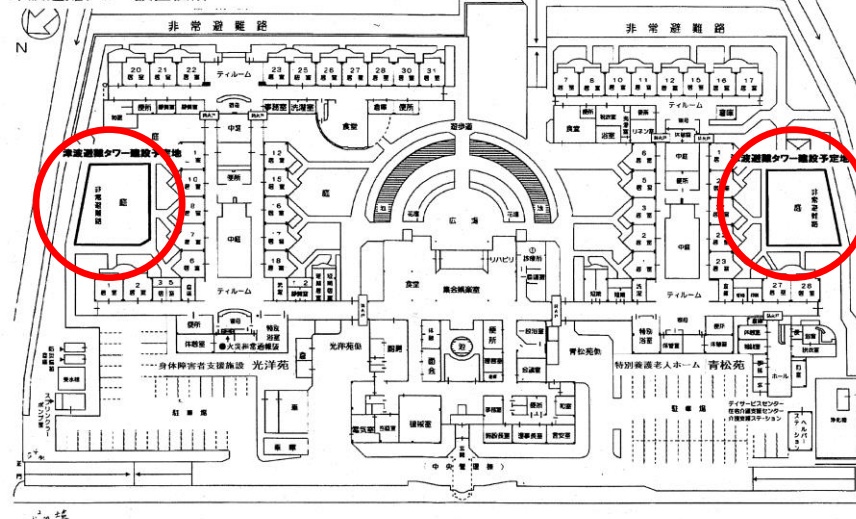
木戸地区津波避難タワー 2 基

場所 山武市木戸 848 番地

(特別養護老人ホーム所青松苑 身体障害者支援施設光洋苑 敷地内)

高さ 避難床高さ 10m 避難スペース面積 100 m²

老人ホーム青松苑等
津波避難タワー設置箇所



設置前 ①



②



設置後 ①



②



事業の実績に関する評価

① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

河川に隣接している特別養護老人ホームの敷地内に 2 基整備したことで、施設入所者の避難時間の短縮や地域の住民の避難に要する時間が短縮できたと評価する。

② コストに関する調査・分析・評価

施設内の用地を利用することで、新たな用地の取得を行わず、用地取得費の抑制になったと評価する。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

業務	想定期間	実績
地質調査	平成 24 年 12 月～ 平成 25 年 1 月	平成 24 年 12 月～ 平成 25 年 1 月
設計業務	平成 25 年 2 月～3 月	平成 25 年 9 月～11 月
工事監理業務	平成 25 年 5 月～10 月	平成 26 年 5 月～11 月
整備工事	平成 25 年 5 月～10 月	平成 26 年 5 月～10 月

地質調査については、想定期間内に達成している。

次に設計業務及び整備工事等については、当初平成 25 年度中の完了に向け業務を遂行していたが、人件費や建設資材費の高騰による設計単価の見直しなどにより、平成 26 年度中の完成となった状況と分析する。

設計業務について、公募型プロポーザル方式を用いて設計業務の発注を行い、工期を短縮する施工などの提案を考慮することで、更なる工期の遅れを防ぐことができたと評価する。

事業担当部局

総務部 消防防災課 0475-80-1116